

刊夕日十二月五

常磐每日新聞

定額 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓
 廣告料 五號十二字 第一行 五圓 拾行 十圓
 日曜祭日の翌日休刊
 發行所 常磐每日新聞社
 印刷所 常磐每日新聞社
 電話 六三〇〇

李官堡の激戦と

大越中佐の戦死に就て (五)

岡本少将閣下御前講演

5、攻撃に先ず偵察の入りなことは言ふ迄もありませんが、此干洪屯の攻撃でも若し六日の偵察なく彼の混雑なる申送りの直後六日朝強襲と云ふことでありましたならば一層六ヶ敷かつたと思ひます前日の偵察により熊家岡子と干洪屯の關係位置三軒屋と干洪屯の關係位置三軒屋南方の角面堡と云ふ様な豫備智識がありましたので各方面の指揮者は相當自信ある部署及戰鬥が出来たのであります若し然らざらば真黒暗で角面堡にぶつかつたならば決して吉岡大佐が當時部署された様に小隊なり一部のものを左の方へ應ひて之れを三軒屋方面に誘致することも出来ず、又我第二大隊でも三軒屋の爆撃を聴えて直ちに敵を背後にして方向變換を斷乎として行ひ且つ確信を以て村落内の北進敢行も適當に行かなかつたでせう。一般の戦況上無論關から出て關地に夜襲でも強襲でも行はねばならぬことがありませうが其處に甚大なる犠牲を拂ひ

6、六日偵察の實施法でも右翼隊の方は拂曉に進み幾何もなく後退しました左翼隊は終日不完全なる散兵壕ではありましたが之に依り時々必要と思ふ處に射撃を加へては一向々其感警を吟味して偵察の爲した、又旅團長は別に斥候を放ち又特別の視察者を設けて極めて周到なる用意を以てしましたので多少損害は出来ましたが情況が比較的明瞭となり翌日小部隊に至る迄各級指揮官が自信ある戰鬥が出来たと思はれます

7、強襲夜襲等の關係の際の方向維持と云ふことは大切なことであります内地等にては主として地物で標定して行きますが滿洲等では地物なく磁石を以て標定する外策がありません、我等は常に磁石を以てする方向維持に大に慣熟する必要が有ります

8、夜襲等の場合牽制射撃部隊の設置配備等には餘程注意を要し射撃が過早

となり、他方面の射撃を誘致したり、又我突撃正面に射撃を加へたり種々故障が起ります、干洪屯の攻撃の如く比較的平坦地にて且つ關係位置の明瞭なるときは害が少ないとしても波状地、山地等に於ては迷惑することが多い、大石橋戰鬥に於ては吾人は苦き經驗を得たことも有る

9、夜襲等に於て隊形の變換及方向變換等は誤解喧噪に陥り後の戰鬥指揮を顯る困難ならしむるを以て避けざる可からざるは明瞭のことなるも實際に臨み行はざる可からざることに屢々出會する故に平素餘程訓練し置く必要がある、而も之れを要する場合は多くは敵火の下に於て起るのであるから小部隊、中隊等に於て訓練を要し、大隊等に於ても一二回は是非經驗し置き之れに操從に付て會得し置く必要がある

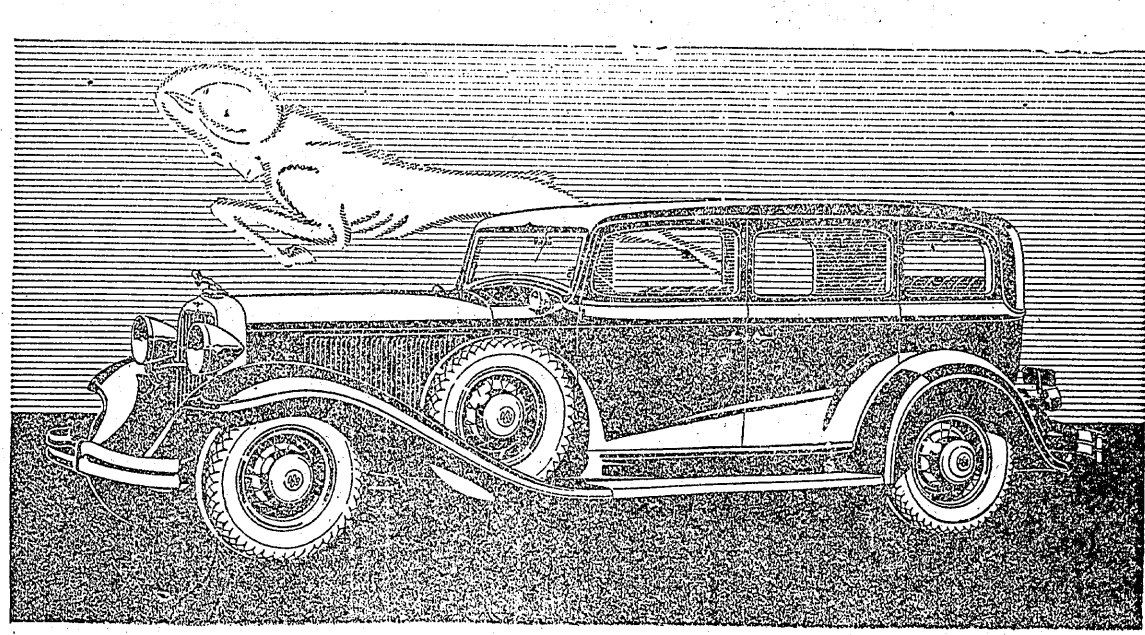
此強襲に於て第七中隊を第一線の右に増加して方向變換等比較的良好に出來たが後方部隊たる聯隊の豫備等に充分徹底せず聯隊は専ら直進して三軒屋に侵入し同時に小地域に軍旗が二流も集合する様なことになつた

科病柳花・科兒小・科内
院醫沼藤
 町屋紺町平 應需院入
 番七〇五話

傘日とルソラパ
 美影點の傘日とルソラパ・頭街の日麗
 〇四一電 ヤルツ 四平

貴金屬
 時計及眼鏡類
 懷中電燈
 キミガヨ電氣
 ランプ特約店
店計時橋高
 路小槌搔町平

DOUGL



新車御披露
 御國の爲の三勇士三九二タクシー客の爲
 獅子吼の勢で眞先に亦も高級車着荷
 一九三二年最新型高級車
 ダッチブラザーズ號ウルトラセダン
 是非御愛乗願ます……。
 斯界のナンバーワンは
三九二タクシーダッチ

平町一丁目 三九二タクシー
 電話 四三 四九 九二 番

平農業倉庫に

金融機關特設

保管品を抵當に 荷主の便を圖る

石城販賣利用組合平農業倉庫の昨年十一月開設以來本年四月迄の保管總數を聞くに

(玄米)一三五九俵(雜穀)五五三一個(白米)一〇三六七俵(藪)八二九石

にて是れが利用者は平窪好間飯野草野神谷等の中産農家及び平好間等の米穀商人に多いが大半は資金に窮して轉賣を急ぐ結果保管期間が短期に終るので同倉庫では來年度より金融機關を設け保管品を抵當として金融する計畫を設け長期間の保管をなさしめる筈で是れに依り同倉庫は現在の約二倍に餘る取引貨物を收容し得るのであらうと見込まれて居る

傳染病豫防

普及映畫會

石城郡大野村役場では農繁期を控へて居る昨今傳染病豫防の徹底を期する爲め廿三日午後六時より同村小學校に於いて豫防知識普及映畫會を開催すると

高麗橋の 道路擴張工 改修近し 事並に六間門と小

二十日から三日間の豫定で縣土木課阿部技師出張實査の上決定近く交附されることになり地元でもほつとしたりたわけである

草野村青年が

國道修繕 奉仕的出動

石城郡草野村青年團では來る卅日全員出動して村道並に國道の破損箇所を修繕工事を行ふ計畫を立て目下受持區域選定中であると

特に小兒は 嚴行されたこと

平町の定期種痘

平町の定期種痘は廿五日より五日間に亘り一齊に執行されるが特に各家庭に於いて昨年の出生兒及び十才以下の小兒を有する者は自發的に執行され度いと尙種痘執行者は七日頃に醫師の檢診を受ける事になつて居る因に種痘受持各醫院は左の如くである

(廿五日酒井醫院)一町目

二町目 材木町 鍛冶町

家屋賃貸價格

廿五日から委員會

平町役場では來る廿五日午前十時より會議室に於いて第一次家屋稅調查委員會を開會本年度に於ける家屋賃貸價格調査の件其他に就いて協議を行ふ

常磐驛長會議

線原町平驛間驛長會議は二十日午前十時から平驛で開き飯岡水戸運事所長各主任驛長五名出席七年度の

事業方針について協議する

材料購入

小名商港工事

小名商港今年度分の工事は前年度工を終了次第本月末か遅くとも六月上旬から着手される見込で砂、砂利、セメント等工事材料の第一回購入は近く決定される運びとなつた

井伊中佐が

教練査閲

警中と平商を

第二師團二十九聯隊留守隊長歩兵中佐井伊泰助氏は今秋十月左の日割を以て警中及び平商の教練査閲を行ふ

(警中)十月二十六日(平商)同二十七日

平町人事

回出生

△五丁目五 當時樺太豊原郡草野町南六丁目石川晴雄氏次女 田鶴子

△南町四五 當時茨城縣眞壁郡下館町一三三鈴木源次郎氏二男 仁郎

△大坂市西淀川區姫島町草野四郎氏(三四)田町一千代イチ(二九)

△仲間町五三 當時内郷村宇竹ノ内三八 永山泰(二四)

△八幡小路二八 引地淳四郎(四六)

△回死 亡

藤沼平次郎

紺屋町

今曉近火の際は早速御馳付消火に御盡力被成下御蔭を以て災厄を免れ候段厚く御禮申上候一々拜趨御禮可申上之處乍略儀紙上を以て御挨拶申上候敬具

吉田眼科病院

吉田安雄

今曉近火の際は早速御見舞被下殊に消火に御盡力賜はり御蔭様を以つて類焼を免れ候段難有奉深謝候早速拜趨御禮可申上處不取敢乍略儀以紙上御厚禮申上度如斯御座候勿々

昭和七年五月廿日

- 順序不同
- 材木町 櫛田榮太郎
 - 同 金成泉一郎
 - 同 阿部傳六
 - 紺屋町 旅館 扇屋柳助
 - 同 菓子舗 日進堂本店
 - 同 炭屋旅館
 - 同 影山洋服店
 - 同 阿部材木店
 - 同 住吉屋本店
 - 同 カフェー松ヶ岡
 - 研町 白萩平支店
 - 古鍛冶町 早川材木店

奏任官待遇

有資格校長

石城郡下に九名

八月一日頃選任さる

文部省の小學校長優遇案に依つて石城郡各小學校長中奏任官を以つて待遇さるゝ人々と目されるは小名濱西山直三郎、内郷第三中村達四郎、四倉菊地正一、湯本尋高篠原保治、勿來尋高折笠鬼子太郎、平第三赤津千里草野五十嵐新平、植田鈴木佐忠、山田安齊清七の九氏にて此の内七八名が来る八月一日頃夫々選任されるであらうと

常磐炭礦

夏がれ

常磐各炭礦は夏枯期が到来したのでこれが對策として經營實績の効果を納むべく努力を拂つてゐるが例年に比し面白からざる状態におり礦産税の如きも屢報の如く滞納額が四萬圓以上に達してゐる有様で當局は極力納付方を督勵すると同時に強制處分を斷行するの止むなき立場にあり一般から極度に憂慮されてゐる

亂暴男罰金

本日言渡さる

石城郡湯本町大字櫻町字白

て毆打し左眼險部に全治二週間を要する傷害を與へ傷害罪として罰金二十圓に本日平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

歸らぬ居候 石城郡小名濱町字船引後藤庄作方同居人古澤忠次郎(三)は昨年八月郷里山形縣西村山郡村山村字城の親元を無斷家出し肩書方に居候中にて再三歸宅をすゝめられたが歸らぬので本日平署に歸宅方の説諭を願出た

今 紺屋町の火事

四棟五戸焼く 損害は約六千圓 消防手二名負傷す

今晩十二時半頃平町紺屋町四十番地材木商織田未松方使用人住宅附近より發火連日の晴天續きに乾燥せる折柄とて火は忽ちにして燃え廣がり同番地草野勘三郎、戸塚もと、鈴木倉吉、織田商店を一嘗めして隣家の折箱商中野長三郎等を全焼更らに野村芳三方を半焼四棟五戸を灰燼に歸せしめた急報に接し駆付けられた消防組を始め附近各村消防組の盡力に依り今朝三時半鎮火したが此騒ぎ中平第一消防隊手猪狩次郎吉、木村勝右工門の兩君はいづれも手指に全治一週間を要する裂傷を受けた尙原因は目下平署で取調中であるが損害約六千圓に及ぶと

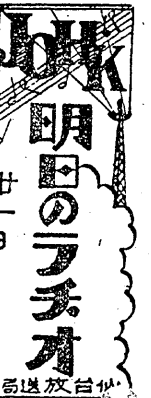
バラく氏 横濱で達者

石城郡湯本町入山炭礦坑夫東白川郡笹原村生れ樋田清春(三)がバラく氏に似て居るので平署が眞偽を確むべく活動を開始した事は既記の如くであるが清春は昨落女房の後を追ひ目下横濱

臨月の身で 夫に死別し

故郷へ歸る途中 旅費を使い果す

石城郡勿來町大日本炭礦坑夫大内由之郎の妻ユキ(三)は去月中臨月の身で夫に死別し伊達郡桑折町に居る叔父を頼つて身の振り方を定めんと僅の家財を賣飛ばし旅費を作り去る十五日勿來を出發したが相馬郡中村町



明日のラジオ

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間お話「滿洲に於ける實戰談」陸軍歩兵少佐鹿野新一郎後七、三〇 講演「第三艦隊とその特別陸戰隊」海軍大佐一色建之助後八、〇〇 義太夫「伽羅先代萩」豊竹昇之助三味線豊澤東重後八、五〇 連続講談「白

明日の部

前七、四〇 國內アナウンズ後九、三〇 奉天より後九、四〇 全國ニュース氣象通報 番組預告

空巢賊

けふ検事局へ

本籍伊達郡伏黒生れ目下住所不定前科十犯鴨原留太郎

鰯が獲れ過ぎて 魚肥値段は下落

石城郡豊間江名等に於ける本年度の鰯漁は本月十八日頃迄一日平均五十萬匹の漁獲を見た結果鰯の魚肥値段は一俵に付き二十錢位の下落を來した

平商柔道選手

既報三郡中等學校柔道大會に出場する平商選手は左の如くにて必勝を期し目下猛練習中である (五年)佐藤忠雄 森田正光 大木茂 遠藤喜平 名畑富能

幼女溺死

伊藤君救助 危ふく

平町立町伊藤君(三)は去る十四日午後一時半頃五丁目高羽秀雄長女(五)が愛谷江に轉落甘間ばかり流され危く溺死せんとしたのを救助した由にて平署は人名救助として縣知事へ報告した

引地訓導 明日告別式

平第一小學校訓導引地淳四郎氏は八幡小路自宅に於て昨日午後二時逝去したが氏は伊達郡立子山生れにて第一小學校に十六年間教鞭を執り生徒よりは慈父の如く親しまれた因に告別式は明日午後二時自宅出棺火葬場に於て行ふと

勿來穀檢移轉

檢物査所勿來出張所は職務に狹隘を感ぢつゝあるのと同町字關田地内國道の某貸家に移轉してはとの意見が最も有力化し目下移轉準備中である

小名濱の賭博

郡小名濱町字中坪魚行商人小坂ナツ(三)方で十九日午前一時頃同人初め同字の大坂吉五郎(六)佐藤松之助(五)比佐スミエ(三)の四名が花札賭博の開帳中密行中の駐在所員に踏込まれ檢擧本日平署に押送された

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉演
近藤 藤 紫 雲 畫

第五十五席 眞庭念流達人櫻井五助

周一郎駟付け

櫻井正助は村上の書き遣した一通を七郎次に渡し、五『目附岡島佐仲殿の許へこれを持参いたして此場の始末を告げ、岡島殿を此處へ案内いたせ』

七『畏まりましたございませ、それでは行つて参ります』

と七郎次は出て行く、暫らくすると岡島佐仲は七郎次と共に参つたが、佐『櫻井、主殿は自殺いたしたさうだナ』

五『御覽の如く先非を悔い其罪を謝する爲自刃いたしました、御檢分下さる様又主殿殿お自殺いたしその仔細は七郎次より差上げました主殿の遺書にてお分りなされし事と存じます』

佐『イヤ遺書は一見いたした貴公の伯父遠藤仁右衛門の殿様に寵あるを妬み森川甚平を成敗いたしたる節斬殺捨て、それを甚平の所爲なりと殿様に申立てた事は武士にあるまじき行爲、其惡事發覺いたして貴公の詰問を申し開く術もなく自殺いたしたは當然の事だとは云へ自殺せし故細々ながら家名は立つであらう、此主



殿の祖先は御當家に取つては大忠臣戰場に功勞もあり天晴武士の龜鑑ともなるべき者その血を承けた主殿は心の穢れた人物であるな、然し忠臣の末なるゆゑどうやら家名は立つであらう、

甲斐々々しき扮装中にも周一郎は槍を把つてそれへ進み寄り、周『當家の僕六藏の知らせによつて伯父は櫻井の爲に横死いたした事を承知いたした、サア五助尋常の勝負いたせ、伯父の仇である其處を退くな』

と云つ、槍に素振を入れた、其折岡島佐仲が佐『控へろ、拙者は目附にて理非曲道を調べる職にあるもの五助に罪あるにもせよ一應拙者が吟味いたして老臣方の意見を問ひ、それより殿様に申入れ御裁許を

これら其許の情に由る處早速此殿老職の方々へお届け申すであらう』

と申したが、此の時支關に人聲が聞えやがて足音も高くバラ／＼と此處へ入つて來たは主殿の甥の村上周一郎、續いてその家來共何れも襷を掛け、鉢巻を致し

受けた後これを相當なる刑に處す、況して村上主殿が自殺いたせしは己れの非業に依る處、さすれば五助をその許に討たせる事はならぬ、引取れ』

周『仰せ御尤もとは存じ申すが眼前の敵を見ながらこれを捨置くは武士道に背き

申す、まげて五助をお引渡し下さい』

佐『何様申すとも其儀を差許す事はならぬ、五助に宜しからざることをあらば之を嚴科に處し其許の怨みを晴し遣はす、引取れ、猶この上にも強て五助と勝負いたさんとあらばこの岡島が相手をしたす、拙者の死せし後勝負いたせ』

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 胃性

林病 腸虫病 腸病

門專 院醫科 村松

七〇一話電

大塚の 學生靴!!!

耐久新製品

編上靴 六・〇〇

半靴 五・〇〇

不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……

大塚支店製靴部 電話七七番

が喪主になつて葬送いたした處で村上主殿の親族に中根與左衛門と云ふ榊原家の老臣がある、これゆゑ五助の事に就ても面倒が起る、老臣方が集つて五助をどう處分して宜いかと協議をいたしたが中根に遠慮して五助には罪はあるまいと申す者も無くまづ中根與左衛門の意見を聞く事に致した。

揚物其他凡ゆる食用に 滋養豊富な……

鳥の油を!!!

おすゝめ致します

四合瓶詰 一本 〇・三〇

鈴木鳥肉店

平町播磨小路(電話六五四番)

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平南町(電話一七〇番)

大和田醫院

正札堂の夏服

小学生用 三十五錢ヨリ

特製 八十五錢ヨリ

中学生用 一圓七十錢ヨリ

正札堂特製品 式圓也

受賞御挨拶

今回當地主催昭和産業博覽會開館中小生特許第八九二二號手袋機械實演に際して本縣視察員始め各地市町村勸業課員及産業組合消費組合等の公共代表者各位其他一般觀衆の絶大なる賞讃を博し更に審査會に於て名譽大賞牌を賜はりました事は從來皆々様の御同情御後援の賜と深く感謝する次第で御座います。今後は當地は固より本縣延いては日本全土に向つて本機械及製品を普及し當地産業開發の爲め益々奮闘努力する覚悟であります。何卒微力なる吾々に尚一層の御後援賜はらん事を紙上より切に御願する次第で御座います。

平町 坂本メリヤス工場

坂本兼治郎